

その他

中海湖心観測所の基準水位の見直しについて

○現行基準水位の設定の根拠とされる松江市大海崎地区では、令和5年度に危険箇所を含む一連区間の整備が完了予定のため、基準水位の見直しを行う予定。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

中海1

出雲河川事務所

○中海湖岸堤整備

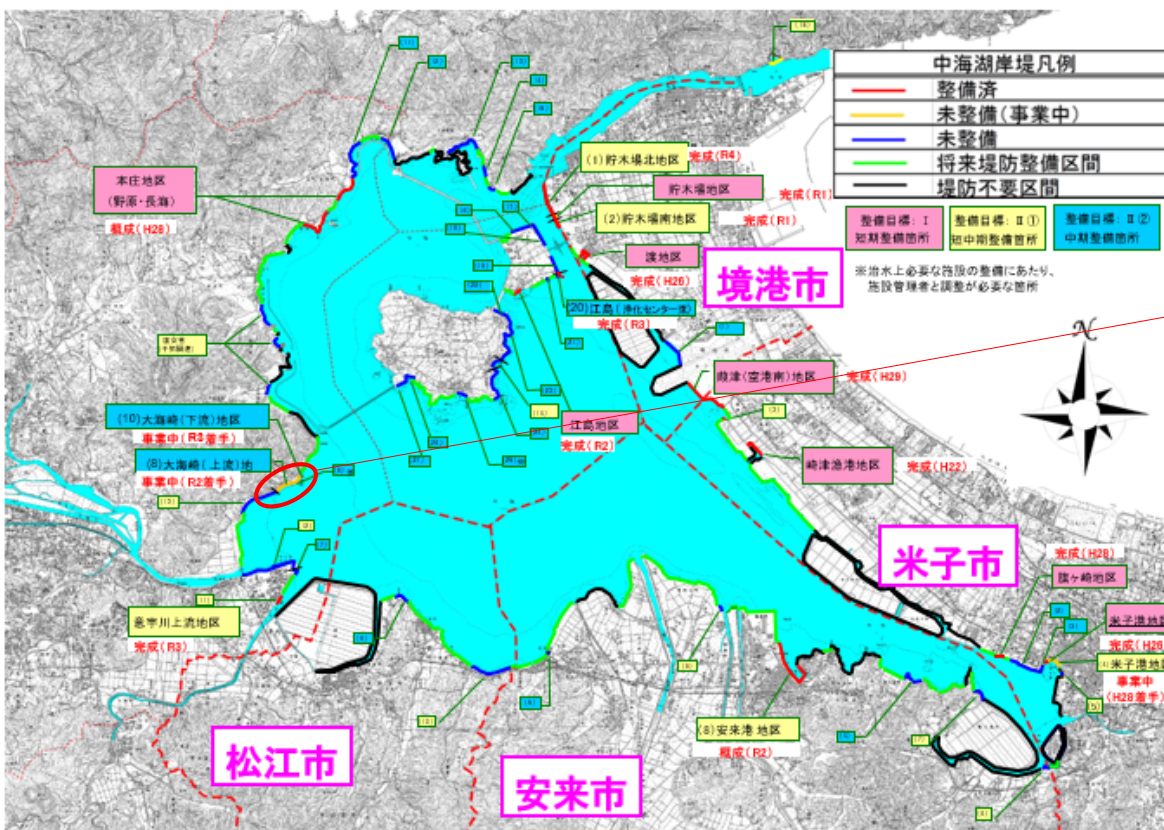
河川整備計画において、整備箇所と優先順位(短期・短中期・中期)を定め、高潮による浸水被害の防止を図るための堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。令和2年度に短期整備が完了し、今後の予定としては、短中期整備箇所に加えて過去に浸水実績のある箇所の湖岸堤整備を実施します。

【R5整備箇所】

大海崎(下流)地区



米子港地区

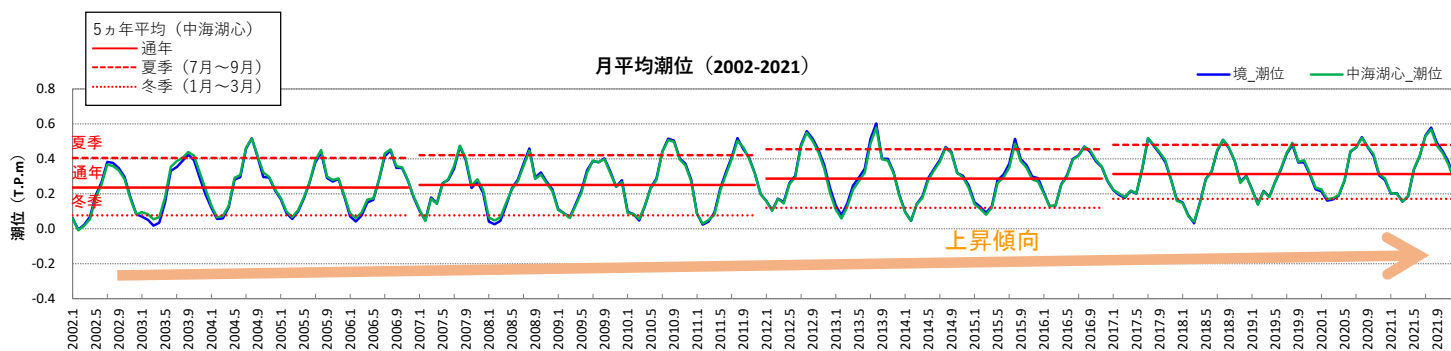


日本海潮位と中海水位の変化傾向

- 中海の水位変化について、日本海（境観測所）と中海（中海湖心観測所）の長期的な傾向を整理
- 月平均潮位、年最大潮位については両観測所の変化傾向は以下のとおり
 - 月平均潮位を毎月の5か年平均値でみると、2002～2006年に比べて2017～2021年には約8cmの上昇傾向がみられる
 - また、潮位が高い夏季（7～9月）でみると、同期間の比較で約8cm、潮位が低い冬季（1～3月）で約9cmの上昇傾向がみられており、相対的に潮位が低い冬季の水位上昇が年平均値を押し上げているとみることができる
 - 最も影響がある台風による年最大潮位と偏差をみると明確な上昇傾向があることを確認することができなかった
- 今後、気象や水文データの分析を進めるとともに、中海の水位は日本海の潮位とも関係してくることから、海岸管理者が検討する気候変動を考慮した海岸保全基本計画との整合性を図りつつ、気候変動を踏まえた治水計画への見直しが必要かも含めて分析・検討していく予定



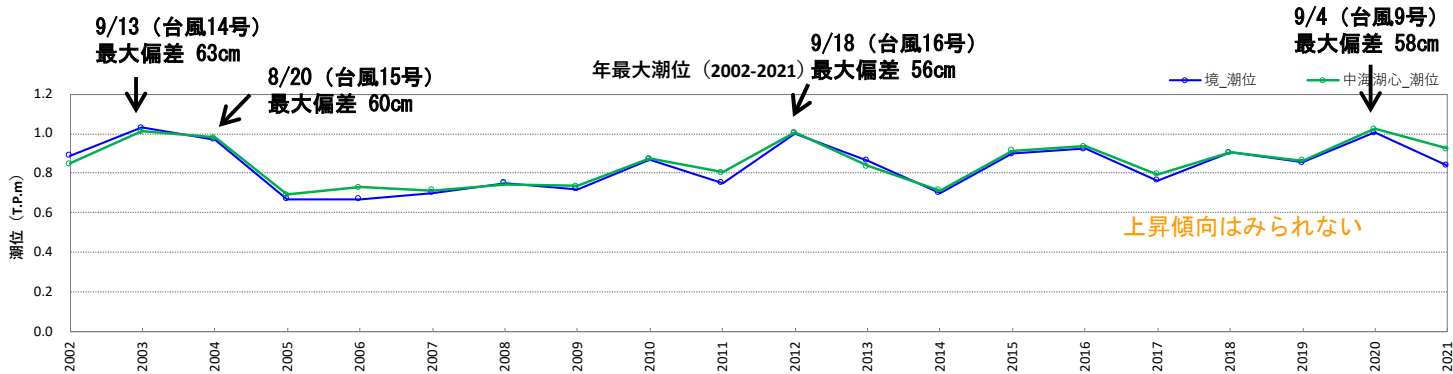
観測所位置図



潮位の経年変化（月平均）【統計期間：近20年間】

観測所諸元

	中海湖心	境
出典	国土交通省 水文水質 データベース	気象庁 ウェブサイト
所在地	島根県松江 市八束町	鳥取県境 港市岬町
時刻データの入手可能期間	2002(H14) 年1月～	1926(S1) 年10月～
観測項目	水位	潮位 潮位偏差

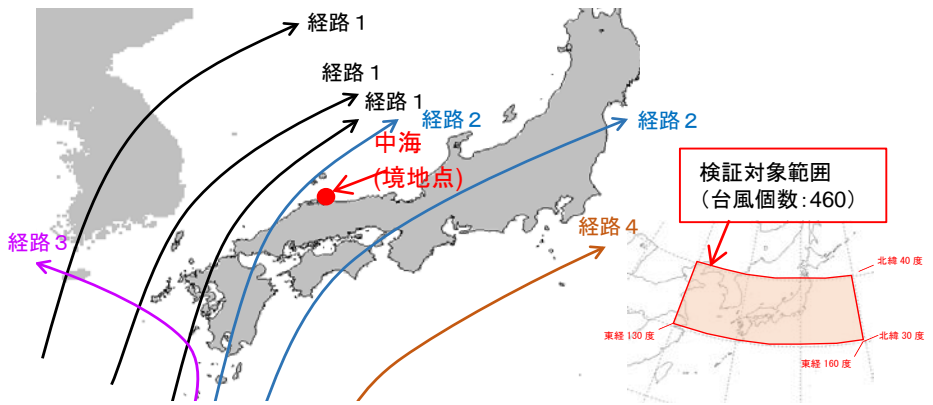


潮位の経年変化（年最大）【統計期間：近20年間】

(参考) 中海の高潮と台風特性の分析

- ・本州に上陸せずに日本海へ移動し、中海北側を通過する経路（経路1）を台風が通過した場合に、境地点潮位偏差が最も大きくなる。（対象：1951年～2015年に発生し、日本周辺を通過した全460台風）
- ・経路1の台風時は境潮位偏差最大値は台風中心位置が北緯40度以北となる時点で生起する傾向がある。
- ・潮位は天文潮位に潮位偏差を加えた値であるため、最大偏差と最高潮位では生起時点は異なる。

■ 台風経路と中海潮位偏差の関係

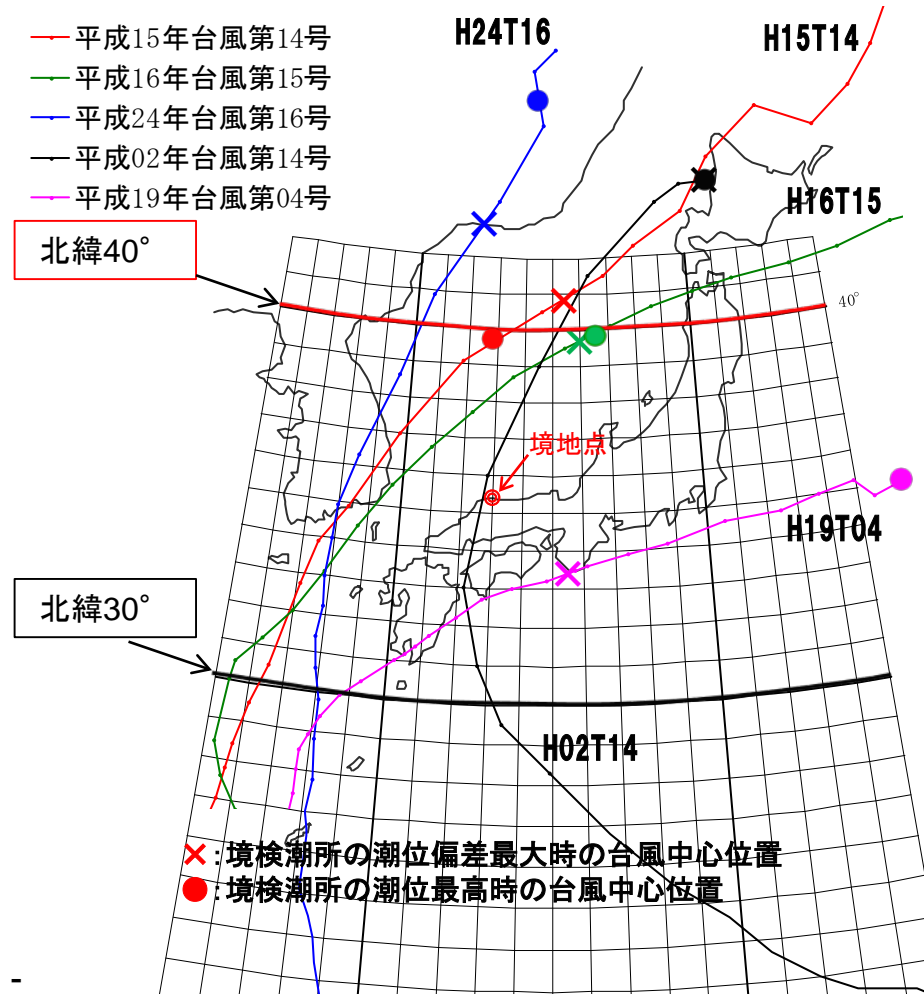


経路1：本州に上陸せずに日本海へ移動し、中海北側を通過
 経路2：中海（経度133.2度）を通過する前に本州に上陸、もしくは中海より南側を通過して本州に上陸し、北に移動
 経路3：南より接近するが日本に上陸せずに日本の西側へ移動
 経路4：上陸せずに太平洋を東側に通過

台風経路	台風個数	境潮位(H.P.m)		境潮位偏差(m)	
		最高	上位5位平均	最大	上位5位平均
経路1	133	1.102	1.041	0.630	0.560
経路2	159	0.962	0.856	0.400	0.358
経路3	22	0.776	0.763	0.250	0.227
経路4	146	1.002	0.836	0.554	0.365

※最高潮位:H.P+1.102m(H15T14)

■ 最大潮位偏差発生時刻の台風位置



- 平成15年台風第14号
- 平成16年台風第15号
- 平成24年台風第16号
- 平成02年台風第14号
- 平成19年台風第04号

北緯40°

北緯30°

×: 境検潮所の潮位偏差最大時の台風中心位置
 ●: 境検潮所の潮位最高時の台風中心位置